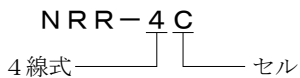


本器はロードセルとロードセル変換器を結ぶケーブルから侵入する雷サージを吸収して、ロードセルの断線事故や変換器の入力回路の破壊を未然に防ぎます。

■ 形式



■ 用途

ロードセル ストレンゲージ

■ 対応規格

JIS C 5381-21 準拠 カテゴリ C2, D1

■ 性能

回路	信号ライン	印加電圧
最大連続使用電圧 U_c	0.3V以下	15VDC以下
動作開始電圧	線間	0.5V以上
	線接地間	DC 350V~850V インパルス電圧
制限電圧 U_p (8/20 μ s)	線間	15V
	線接地間	34V
応答時間	4ns	
漏れ電流	線間	1 μ A以下 (最大連続使用電圧にて)
	線接地間	ゼロ (100VDCにて)
サージ電流耐量	6,000A (8/20 μ s)	
静電容量	線間	200pF以下
	線接地間	2pF以下

■ 特長

- ・世界初のモリブデン素子を採用
- ・超高速応答時間4ナノ秒 (4×10^{-9} 秒)
- ・自復作用
- ・極微小静電容量2pF以下
- ・超高速弁作用 (0.03 μ s)
- ・サージ電流耐量公称値6,000A
- ・無続流です。
- ・DINレールに取り付け可能です。
- ・省スペースでしかも軽量です。
- ・エレメント部をはずしても信号は途切れません。

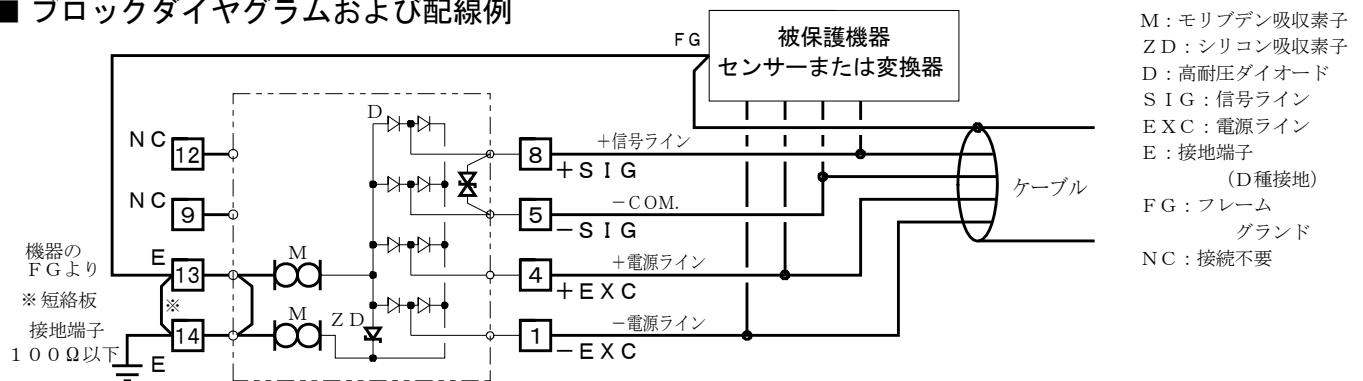
■ 設置仕様

使用温度範囲：-10~+60℃
 使用湿度範囲：5~90%RH以下 (結露しないこと)
 寸法：W22×H71×D67
 重量：約60g

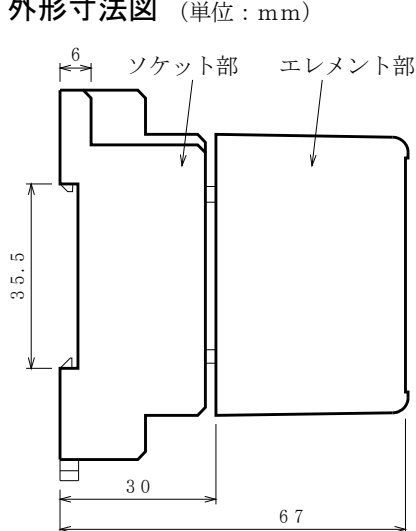
■ ソケット仕様 (標準付属品)

形式：PYF08A
 構造：プラグイン構造
 接続方式：M3ねじ端子接続 (締付トルク1.2N・m以下)
 端子ねじ材質：鉄にクロメート
 ハウジング材質：黒色プラスチック (難燃性)
 取付：直取付けまたはDINレール取付け (35mm巾)

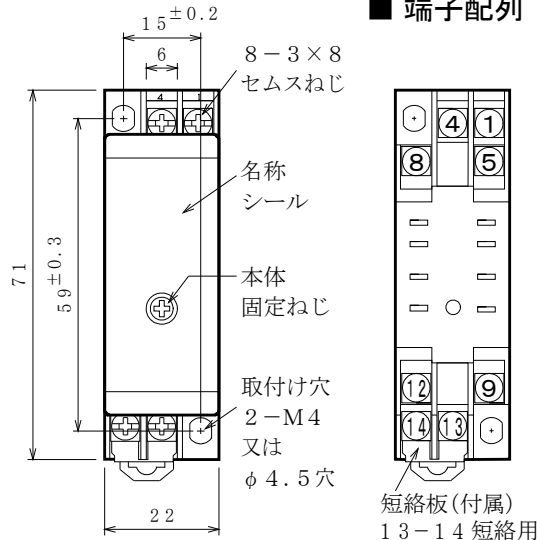
■ ブロックダイアグラムおよび配線例



■ 外形寸法図 (単位: mm)

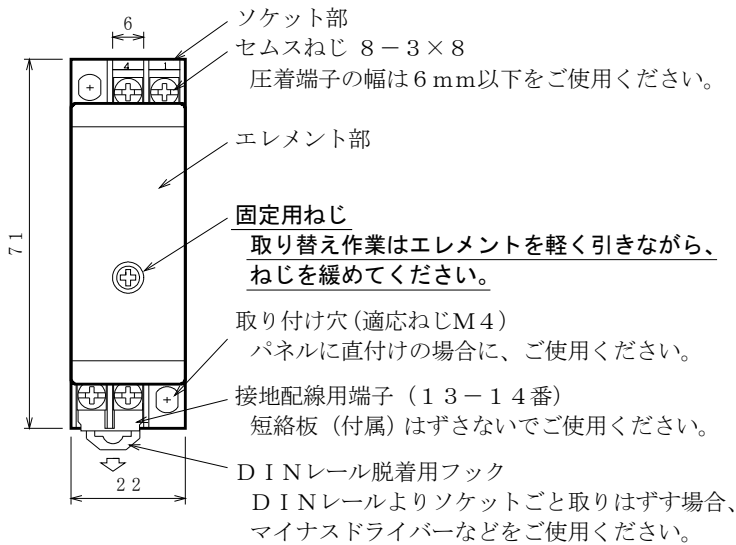


■ 端子配列

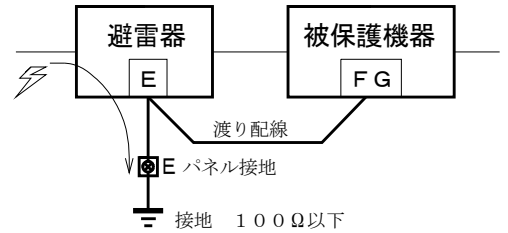


端子名称	番号	符号
信号ライン	8	+SIG
	5	-SIG
印加電圧	4	+EXC
	1	-EXC
接地	13-14	E
空き	9	NC
	12	NC

■ 各部名称 (単位: mm)



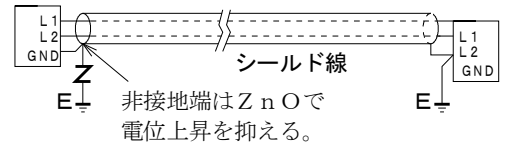
■ 効果的配線の仕方



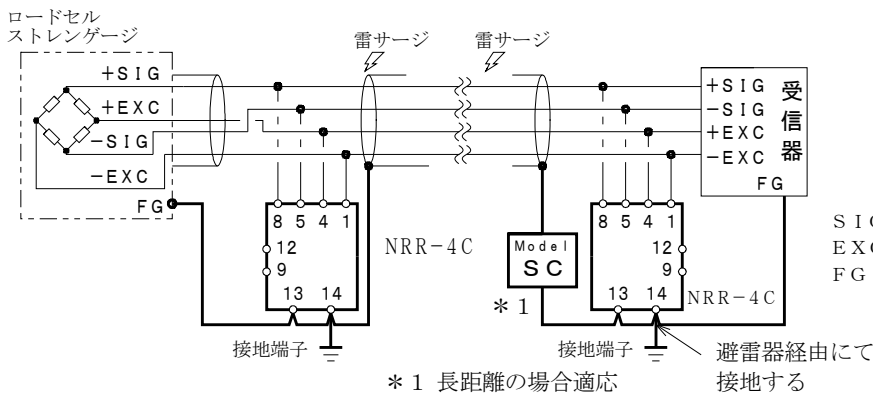
・保護したい機器のフレームグランド端子を避雷器の端子Eに接続してからパネル接地端子に接続すると被保護機器に誘導雷サージが及ばないようになる。

■ シールド線非接地端対策

・予備線やシールド非接地端の対策もご検討願います。
放置するとケーブルの浮遊容量により、サージ侵入の大きな要因となります。



■ 配線例



■ 接続方法

- 1) 配線はできる限りサージの侵入側で短くおこなってください。追加の場合、避雷器の端子で中継する要領で配線されることをお勧めします。
- 2) 接地工事はC種接地 (10Ω以下)、又はD種接地 (100Ω以下) いずれか統一にて必ずおこなってください。接地線はできる限り最短距離で2 mm²以上を使用して、避雷針アースや高圧電力アースとの共用は避けてください。
- 3) 被保護機器にフレームグランド (FG) のない場合は、避雷器のみ接地をおこなってください。

■ 使用上の注意事項

- 1) 取り付け時、形式の確認をおこなってください。ソケットにエレメントの形式を表示しています。
- 2) 耐電圧試験は、漏れ電流により不良と見誤ることがありますので、関係先の了承を得て避雷器のエレメント部を取りはずしておこなってください。
- 3) エレメント本体の絶縁抵抗試験は、連続の直流印加より劣化の原因になりますので、おこなわないでください。
- 4) 設置場所の湿度範囲は90%以下 (結露しないこと) であることを確認してください。

■ 定期点検の方法

- ・JIS規格による直流電圧を印加して1 mA時の電圧を見る方法は、ラインと接地間のモリブデン素子には、おこなわないでください。性質上、直流インパルス電圧もしくは交流電圧による方法となります。
- ・避雷器専用の簡易チェッカーCLA-2000 (2000V用) をご使用ください。
- ・わからない間に誘導雷サージを受けている場合があります。雷シーズンの前後年2回位、定期点検の実施をお勧め致します。交換用避雷器の手配中に被保護機器がサージを受けて破損することも考えられます。予備品の在庫をお勧め致します。

■ 保証期間

仕様範囲および正常な使用状態で製造上の故障と認められる場合、1年間とします。
ただし、製品の故障や不具合などによる付随的損害の補償については、その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。